

新花巻図書館整備に関する設計業務の実施について

生涯学習部新花巻図書館計画室
2025.6

I .設計業務の一括発注

市としては、**可能な限り早期に図書館整備を進めたいという思い**から、今回、新花巻図書館整備のための設計業者を選定するにあたっては、これまで市で設計業務委託を実施する場合に行ってきた**分離発注ではなく、基本設計及び実施設計を一括発注**としたい。

図書館等、建物の設計業務における他市の進め方等を見ると、「基本設計」「実施設計」を分けずに実施する自治体が多い。

基本設計と実施設計をひとつの契約として発注することで期待できること

- 基本設計と実施設計を一括で発注した場合、「基本設計」と「実施設計」とが連続することで、高度な建築設計技術に加え、環境などの制度や合意形成といった幅広い技術力が必要となることから、より優れた業者の参加が期待できる
- ひとつの契約の下、図書館設計全体に関与することになるため、分離発注の場合と比較して設計業務に対する責任が明確化されることで、設計成果としての質の向上が期待できる
- 基本設計終了後に実施設計の契約を待つ必要がなく、設計について工期の短縮が期待できる

Ⅱ .プロポーザル方式による設計業者選定

基本・実施設計業務の一括発注にあたっては、同種業務：類似業務の実績や経験、技術提案を応募者に求め、その技術提案を審査し、**最も高い技術力を持つ業者を選定できる手法**として、設計業者について、**公募プロポーザル方式**により選定したい。

図書館設計に求める要素

- 幅広い専門的な知識と経験が要求され、図書館特有の知識、建物の環境性能、図書館周辺交通計画や駐車場計画、広場設計など、多岐にわたる業務
- 建築・土木分野の横断的かつ総合的な技術力を持つ業者

参加条件等

- 市内に本店を有する一級建築士事務所のうち、花巻市営建設関連業務委託資格者名簿に登録があるのは7社であり、そのうち3名以上の一級建築士を有するのは2社のみ
- 市内業者または市内業者との共同企業体のみを応募要件とした場合、応募者数が限定的となり、より技術力のある業者を選定するにあたり、市としての選択肢を狭め、最良の成果を得るに相応しい選定とはいえない状況になる
- そのため、市内業者と共同企業体をくむことを前提とした条件の設定はできない
- ただし、市内業者を加えた共同企業体を結成する場合には評価点を加点することで、設計段階で市内業者が参画できる可能性は拡げたい

Ⅲ.工事施工にあたっての市内工事業者の起用

- 工事施工にあっては、市内建設業者は、これまでも、市役所等庁舎や学校など大規模な建築工事の実績がある
- 設計事務所が適切な設計を行い、適切に監理すれば、花巻の建物、電気、外構工事事業者が市内単独でできる可能性は、設計事務所が特に技術的に困難で花巻市の工事業者ではできないと判断する事項を除いて、花巻市の工事業者に競争入札等により発注は可能
- 市内事業者への発注は、設計業務の発注に比べて、花巻市への経済に与える影響は金銭的、また雇用の面でもはるかに大きな影響を与えるものとする。